

平成21年4月10日

各位

上場会社名 株式会社 エクセル
 代表者 代表取締役社長 橋本 善夫
 (コード番号 7591)
 問合せ先責任者 常務取締役財務本部長兼経理部長 進藤 龍生
 (TEL 03-5733-8404)

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成20年5月15日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

(金額の単位:百万円)

平成21年3月期通期連結業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	100,000	2,000	2,000	1,150	126.84
今回発表予想(B)	93,000	1,100	1,400	1,000	113.14
増減額(B-A)	△7,000	△900	△600	△150	
増減率(%)	△7.0	△45.0	△30.0	△13.0	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	131,747	3,736	3,770	1,919	211.76

平成21年3月期通期個別業績予想数値の修正(平成20年4月1日～平成21年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	55,000	1,000	1,300	750	82.72
今回発表予想(B)	50,000	750	1,500	300	33.94
増減額(B-A)	△5,000	△250	200	△450	
増減率(%)	△9.1	△25.0	15.4	△60.0	
(ご参考)前期実績 (平成20年3月期)	66,423	1,734	2,025	964	106.35

修正の理由

(連結)

世界的な金融危機の渦中において、当社グループの属する電子部品業界も最終需要の急激な落ち込みの影響を受け事業環境の大幅かつ急激な悪化を余儀なくされております。当社グループもその影響を受け、売上高が伸び悩み、利益面では電子部品価格の急速な低下のあおりを受けた粗利率の低下もあって、売上総利益は大きく減少しました。こうした状況下、経費面では不要不急経費の節減、役員報酬の削減等を実施しコストカットに努めましたが補えず、営業利益は当初予想の55%程度となる見込みです。

経常利益段階では急速な円高による為替差損の計上はあるものの、前々年度から清算手続きを行っていた合併済み子会社である旧ニデコの香港子会社(非連結子会社)の清算が完了し、受取配当金4億35百万円を計上するため当初予想の70%程度となる見込みです。

特別損失として、東京株式市場の急激な調整の影響を受け投資有価証券評価損を7億29百万円、早期希望退職費用1億3百万円、他を計上しますが、法人税等調整額として、外国子会社配当益金不算入制度の導入による繰延税金負債の取崩6億80百万円(増益要素)、繰延税金資産の取崩1億2百万円(減益要素)を見込むため、当期純利益は当初予想の87%程度となる見込みです。

(個別)

連結で説明した要因により1-(2)の通り修正します。

なお、経常利益段階で当初予想を上回る見込みとなっているのは上述の子会社からの受取配当金の計上によるものであります。

なお、本件修正による平成21年3月期の配当予想の修正はありません。

※ 上記の予想は本資料の発表日現在において入手可能な情報及び将来の実績に影響を与える不確実な要因に係る本資料発表日現在における仮定を前提としております。実際の業績は、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。

以上